

地域の課題を発見・解決し、地域の再生・活性化を実現する、
琉大生の斬新でユニークなアイデアを募集！

令和 7 年度「地域共創型学生プロジェクト(ちゅらプロ)」 募集要項

【今年度の変更点】

- ・今年度初めて申請する新規のプロジェクト(「新規プロジェクト」という)のほか、
過年度に実施したプロジェクトの継続(「継続プロジェクト」という)についても、
正式に支援の対象として募集します。
ただし、継続は 1 回限りとし、通算 2 年までとします。
それ以降については改めて「新規プロジェクト」として申請して下さい。
- ・採択件数は、「新規プロジェクト」及び「継続プロジェクト」の区分を設けず、
全体として5件程度です。
- ・なお、来年度については、年度初めに公募するのは「新規プロジェクト」のみとし、
引き続き令和 8 年度に継続を希望するプロジェクトの審査については、年度当初から
プロジェクトを実施できるよう、令和 7 年度末に行う成果報告会において令和 7 年度
の実績や令和 8 年度の計画等を審査したうえで年度内に決定します。

【今年度の応募パターン】

- ・「**新規プロジェクト**」
令和 7 年度より新規に実施するプロジェクトで、原則として 1 年間で完結することと
するが、令和 8 年度まで継続することを可能とする。
継続実施の可否については、令和 7 年度末に行う成果報告会において令和 7 年度の
実績や令和 8 年度の計画等を審査したうえで年度内に決定する。
- ・「**継続プロジェクト**」
令和 6 年度に実施し、令和 7 年度も継続するプロジェクトで、今年度に限り募集する。
今回の公募で、令和 6 年度の実績や令和 7 年度の計画等を審査し採択を決定する。
さらに令和 8 年度以降も取組を継続する場合には、「新規プロジェクト」として申請す
ることは認めるので、これまでのプロジェクトとの違い等についても整理すること。

この事業は、岸本遺贈基金の支援を受けて実施しています。

1. 本プロジェクトの趣旨

地域社会にはさまざまな問題や課題があり、それを発見・解決し、地域を元気にしていくことが、今、求められています。とくに、若い人々の新鮮な考え方、ユニークな視点に、大きな期待が寄せられています。

「地域共創型学生プロジェクト(以下、ちゅらプロ)」は、琉大生が自ら「地域」に入り、地域の再生・活性化やそこでの課題の発見・解決等に取り組むという「公募型の正課外プロジェクト」です。地域を元気にするためのアイデアを学生の皆さんに出していただき、審査の上、優秀なアイデアに対して、そのアイデアを実行するための費用を提供します。採択されたプロジェクトに対しては、費用の支援だけでなく、計画・実施にあたって本学の教員・事務職員が全面的に皆さんのチャレンジをサポートします。

このプロジェクトを通じて、学生の皆さんが、地域に対する理解を深め、卒業後も地域の発展に大いに貢献できる人材となることを目指しています。

2. 応募資格 ※①～③の要件を全て満たすこと

- ① 琉球大学の正規の学生3名以上で構成されるチーム
*在籍学年、所属学部・研究科は問いません。
- ② 実施するプロジェクトに「熱意」と「責任」を持ち、最後まで遂行できるチーム
- ③ 期限内にエントリーすることができるチーム

3. 採択件数

(新規及び継続の区分を設けず全体として)5件程度

4. プロジェクトの実施要件

(1) プロジェクトの支援額:最大 **30万円**の支援

配分予算額を超える分については自己負担となります。

※離島等での実施の際には、サポート教員の引率をお願いしていますが、サポート教員の旅費については別途支援しますので、上記とは別に積算計上してください。

(2) 全体プロジェクト期間(応募から実施まで):令和7年7月～令和8年3月

令和8年2月中旬から3月中旬の間に成果報告会を実施する予定です。報告会までに活動を実施し、期間内に実施した活動の成果について報告できるように準備してください。また成果を公表する機会が他にも生じることがあります。

令和8年3月末日までに、最終報告書の提出やお世話になった機関へのお礼の連絡等を行います。プロジェクトの終了時期が早ければ3月以前に報告書の提出とお礼などを終えることも可能です。

5. 全体のスケジュール

	日程の目安	内容
応募	令和7年5月7日(水)～5月30日(金)17:00	エントリー募集期間
	令和7年5月12日(月)、13日(火)、14日(水) いずれも12:00～12:40	公募説明会(※必ず出席する必要はありません。 都合の良い日に参加してください)
審査	令和7年6月2日(月)～6日(金)	1次審査(書類審査)
	令和7年6月16日(月)13:00～16:00	プレゼン審査会
	令和7年6月下旬	プロジェクトの採択通知
実施	令和7年7月1日(火)12:00～12:30	キックオフ説明会
	令和7年7月1日(月)～2026年3月末日	プロジェクト実施期間(個別ヒアリング適宜有り)
	令和7年10月中	中間報告会
	令和8年2月中旬～3月中旬の間に予定	成果報告会及び <u>継続審査</u>
	令和8年3月末日	成果報告書等の送付・お礼の完了、アンケート回答

※個別相談は適宜実施します

6. エントリー方法及び期間

- ① 公募説明会、各学部事務窓口、地域連携推進機構 web サイト (<https://chiiki.skr.u-ryukyu.ac.jp/?p=3333>)のいずれかから、「エントリーシート」(別添1)を入手する。
- ② 「エントリーシート」に必要事項を記入する。
- ③ 必要事項を記入した「エントリーシート」を、琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課(大学本部棟1階)宛に直接または電子メールにて提出する。メール提出の場合は、電子ファイルを添付の上、提出すること。件名は下記のようにすること。

提出先アドレス:cocplus@acs.u-ryukyu.ac.jp

提出件名:「【ちゅらプロ】(取組チーム名)エントリーシート」

提出期間:令和7年5月7日(水)～5月30日(金)17:00まで

7. 令和7年度「ちゅらプロ」公募説明会の開催について

下記の日程で、本プロジェクトの公募に関する説明会を開催します。必ず参加する必要はありませんが、経費の活用範囲等についても説明するとともに、質疑応答を行うので、プロジェクトの応募を考えているチームはできるだけ参加すること。日程が合わないチームは個別に相談可。

日 時:令和7年5月12日(月)、13日(火)、14日(水)いずれも12:00～12:40
(同じ内容のため、いずれか都合の良い日に参加してください)

場 所:地域国際学習センター301 講義室

8. 書類審査及びプレゼン審査会の実施について

1 次審査として、提出いただいた書類(エントリーシート)を地域連携推進機構で審査します。
1次審査を通過したプロジェクトについて、下記日程によりプレゼン審査会を実施し最終的な採用プロジェクトを決定します。

日 時:令和 7 年 6 月 16 日(月)13:00~16:00(予定)

場 所:地域国際学習センター301 講義室

①発表に含めることが望ましい内容

- (1)プロジェクト概要:チャレンジしたいアイデア
(このプロジェクトはどのような内容ですか)
- (2)取り組むべき地域課題
(このプロジェクトを実施することによってどのように地域に貢献しますか)
- (3)オリジナリティ、面白さ
(これまでに実施されてきたアイデアとどう違って、どこが面白いのか)
- (4)プロジェクトの実施計画
(プロジェクトの実施期間、担当者、(4)の目標を達成するための具体的な行動計画を教えてください)
- (5)期待するプロジェクトの成果・効果
(このプロジェクトを実施すると地域にとってどんないいことがありますか)
- (6)予算の使用方法(必要な予算について教えてください)

②審査の観点

- (1)地域社会に対する意義
(このプロジェクトを実施することで「地域」に貢献できることがあるか)
- (2)オリジナリティ
(すでに実施されているプロジェクトや活動と比べて評価できる点があるか)
- (3)実施可能性(チャレンジする気持ちと行動力が伴っているか)

③審査員:本学教職員(地域連携推進機構を中心に選定)

④審査結果:審査会終了後、速やかに各プロジェクトの代表者に結果を通知する

9. 経費使用について

〈使用できる例〉

〈使用できない例〉

旅費(移動費・宿泊費)※ レンタカー借用代(ガソリン代も可) 制作物の材料購入費 パンフレット等の印刷費 図書購入費(※要相談) 謝金 送料 作業用具代 プロジェクトに必要な消耗品代など	プロジェクトとは関係のない消耗品代 自家用車による移動に伴うガソリン代 パソコンやディスプレイ等の備品購入代 学生個人が加入する保険料 タクシー代(特別に必要となる場合除く) 人件費(アルバイト雇用経費)など
---	---

※具体例や不明な点については、説明会にて問い合わせてください。

※離島等での実施の際には、サポート教員の引率をお願いしていますが、サポート教員の旅費については別途支援しますので、別に積算計上してください。

10. その他、プロジェクトの実施に関する注意事項

- ①新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分留意して実施すること。
- ②公開審査会、中間報告会、成果報告会には原則チーム全員参加すること。
- ③本取組の教育効果を調べるため学籍番号記入式アンケートの回答に協力すること。
- ④外部機関への依頼や新聞等の取材を受ける際は、事前に申し出ること。
- ⑤実習的活動を伴う場合は、自己負担により必ず保険に加入すること。
- ⑥本プロジェクト経費で旅費の支出を行う場合、学内の教職員が旅行の引率者として随行することを受け入れること。

11. 運営主体・本件に関する問い合わせ先

「地域共創型学生プロジェクト(ちゅらプロ)」

主催:地域連携推進機構

地域連携推進機構准教授 小島 肇(こじま はじめ)

メール:kojima「アットマーク」cs.u-ryukyu.ac.jp

(「アットマーク」を@にして送信してください)